

今年度の自己評価は札幌市が提示している参考様式を使って公表します。
 開設からほぼ丸3年を経過し、日々の遊びやスイッチを使ったコミュニケーションに関する練習も次第に充実してきました。また3年目になって初めて親子遠足やクリスマス発表会を行って、利用児や家族の交流ができたことはとても嬉しいことでした。とりわけクリスマス発表会では、日々ばおばぶで行っている活動を保護者や養護学校の先生方に見ていただくことができ、今後の活動の励みになりました。
 表にある通り、まだ不十分な点は多々ありますが、ひとつずつ改善していきたいと思います。
 (2019年3月)

放課後等
 デイサービス

事業所における自己評価結果(公表)

参考様式3

公表: 2019年3月7日

事業所名 放課後デイばおばぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		スペースは充分とは言えないが、常に整理整頓を心がけている。	新学期からは利用児が増えるので、不要な物品を廃棄するなど、さらに整頓を進めていく。
	② 職員の配置数は適切であるか	◎			重心児デイの要件にそって適切な人員配置を行っている。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			ホームページ上で公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		これまではしてこなかったが、どんな方法があるのかを調べ、外部評価を行っていきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	◎			内外の研修会について極力、情報提供を行い、参加を促している。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	◎			開設当初よりコミュニケーション能力に関して統一したアセスメントシートを使っている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	◎			保育士チームを中心に年間計画、月次計画をたてている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎			週ごとにメインの遊びを考えている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎			長期休暇や休日には時間の余裕があるので、集団遊びを取り入れている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎				

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			必ず打ち合わせをしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎			保護者への連絡帳とともに、看護と活動に関して日々の記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎			支援計画にそって、半年ごとに見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	◎				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	◎				毎年度はじめに、主治医からの指示書をもっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					今のところ、そうした経緯はない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		利用が医療的ケアの必要な重心児のため、感染予防などの点から難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		重心児をテーマにした協議会の開催がないため、参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎				日々の連絡帳、送迎時の看護師からの申し送り等で細かくコミュニケーションをとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○					
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	◎				今年度から、親子遠足、クリスマス発表会等を開催し、利用児と家族が集まって交流する機会を作っている。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				今のところ苦情はないが、苦情があった場合の体制はできている。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎				月に一回、「通信」を発行し、活動の内容を写真つきで報告している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○					
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				マニュアルは用意しているが、保護者への周知は行っていなかった。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○					
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○					
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				身体拘束は行っていません。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎				医師や保護者からの情報で、細心の注意をはらっている。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎				ヒヤリハットの際には関係者で集まり、防止策を検討し、記録に残している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。